



# 2畦オフセット ビートハーベスタ

## TOBH2

2畦掘りで  
作業能率向上!!

スピーディ  
&  
スムーズ収穫!!

### 主要諸元

名称 / 型式	2畦オフセットビートハーベスタ TOBH2V24	
形式	けん引式 バンカー形	
全長	7,710mm	
全幅(作業時)	3,100mm(4,640mm)	
全高(作業時)	3,600mm(4,260mm)	
機体質量	6,100kg	
ヒッチ	油圧スイングヒッチ	
形式	油圧レベリング付 1軸2輪	
舵取装置	アクティブステアリング付 油圧パワーステアリング	
タイヤ	600/50-22.5(16PR)	
茎葉処理	3連油圧駆動クリーナー(8枚ペア×2基+6枚ペア×1基)	
深さ調整部	ゲージタイヤ付油圧昇降装置	
自動畦合わせ	ポテンションメータ付 ロッド検出方式	
適用畦幅	45cm~50cm(狭畦仕様)	60cm~66cm(慣行仕様)
第1(掘取)コンベヤ	860mm段付きベルトロッドコンベヤ	1,040mm段付ベルトロッドコンベヤ
第2(補助)コンベヤ	340mm段付ベルトロッドコンベヤ×2連	
第3(横送)コンベヤ	709mm段付ベルトロッドコンベヤ	
ローラー部	油圧駆動Φ91mmスナッピングローラー	
昇降搬送部(エレベーター)	740mm樹脂製搬送板付 エレベーターコンベヤ	
形式 / 容積	左排出アンローダー付バンカー形タンク 11.7m <sup>3</sup> (7.0t相当)	
排出軸高さ	3,460mm(最大高さ)	
アンローダー	1,400mmゴム製搬送板付 アンローディングコンベヤ	
排出能力	175kg/s(満量排出40s)※外部油圧油量=50L/minのとき	
馬力	96kW(130PS)以上 118kW(160PS)以下	
外部油圧	油量50L/min以上 80L/min以下の複動ポートが1系統以上あること ※アンローダー・シリンダー回路、油圧スタンド回路、エレベーター上下回路の 3系統を同時に使用しない場合は、複動1系統で使用可能です。	
作業速度	4.0km/h(1.1m/s) ~ 7.0km/h(1.9m/s)	
作業能率	25.0 ~ 38.0a/h	

※カタログに記載された数値・性能は気象条件や圃場条件などにより異なります。  
※本仕様は改良その他により予告なく変更することがありますので、ご承知おき下さい。



ホームページ <http://www.toyonoki.co.jp>

農作業の安全は東洋農機の願いです。

わたしたちは アグリパートナーです。



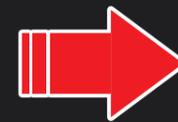
東洋農機株式会社 〒080-2462 帯広市西22条北1丁目2番5号  
TEL0155-37-3191・FAX0155-37-5399

小清水営業所 〒099-3641 斜里郡小清水町字小清水本町1丁目13-11 TEL (0152) 62-2309  
美幌営業所 〒092-0027 網走郡美幌町字稲美220-14 TEL (0152) 73-4158  
美瑛営業所 〒071-0215 上川郡美瑛町扇町232番地 TEL (0166) 92-1368  
三川営業所 〒069-1144 夕張郡由仁町本三川674 TEL (0123) 86-2436  
倶知安営業所 〒044-0077 虻田郡倶知安町字比羅夫60-1 TEL (0136) 22-2236  
©R5.10 (2000)

# 2畦掘りで作業能率大幅にアップ

## TOBH2V24 機能紹介

1畦タッパ無し  
最大25a/h



2畦オフセット  
ビートハーベスタ  
最大38a/h

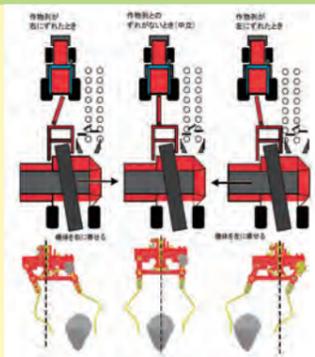


### オフセット

畦をまたがないのでビートを倒さずに掘ることができます。またある程度の悪条件でも掘り取りが可能となります。

### 自動畦合わせ

作物列と掘取口がズレた時、ズレを戻す向きに自動で機体を修正します。ズレ幅に応じた反応速度で動作させるため、ショックの少ない快適な作業を実現します。1つの畦を基準にセンサーを設置することで、折り返しでタンクの空き容量を見ながら、2畦分を掘って戻るには空きが足りないという場合に1畦で掘ることが可能です。



### 手動レベリング

圃場の傾斜に合わせて、手動で機体のレベリング調整が行えます。左右各4°の傾き調整が可能です。水平位置は機体前部のゲージを見て確認できます。

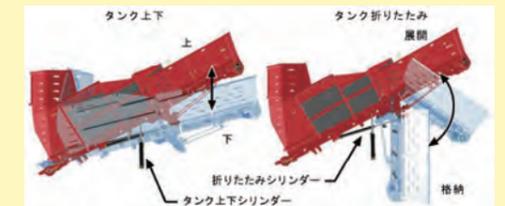


### タンク容量11.7m<sup>3</sup>



### タンク排出高3,460mmでトレーラーに楽々排出

タンク容量は大容量の11.7m<sup>3</sup>(約7.0t)です。従来の1畦掘り仕様と比べタンク容量が増えたことで排出の回数が少なくなり、作業効率が上がりました。タンク排出高は3,460mmでトラック、トレーラーに楽々排出でき、土場空けの場合はタンクを下げて排出の高さを抑える設計になっております。排出はアンローダーによって行います。道路走行時はタンクを格納して走行します。



### アクティブステアリング

旋回時にステアリングを逆位相に切るよう制御して、トラクターへの追従性を高めることができます。制御には「旋回優先モード」と「追従優先モード」の2つのモードがあり、圃場や好みによって変更が可能です。

#### 【旋回優先モード】

トラクターとハーベスタが一直線上近くになるまで、ステアリングを逆位相に保持し、一直線上近くになってから、ステアリングを中立位置に戻すモードです。機体が外に膨らんで旋回しますが、追従優先に比べて旋回に要するスペースは小さくなります。



#### 【追従優先モード】

トラクターとハーベスタの角度差に応じて、ステアリングの切れ角を細かく制御するモードです。湾曲した畦があるなど、トラクターの軌跡に追従させないとビートを踏んでしまうような場合に選択します。

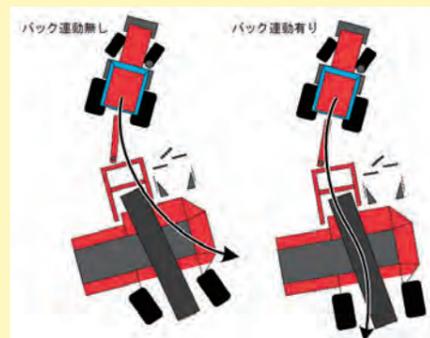
### 操作ボックス

作業機の操作は操作ボックスで行います。ワンタッチ機能や自動機能のON・OFF、各種設定がこれ1つでできます。



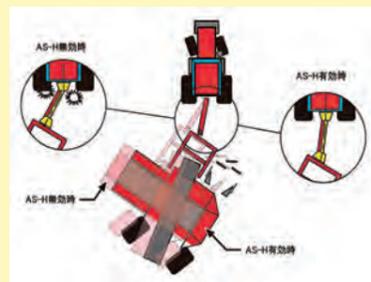
### バックギヤ連動

アクティブステアリングを作用させたまま後退するとステアリングが逆位相に切れてしまうため真っ直ぐ後退しづらくなります。バック連動機能によって、トラクターのバックギヤを認識し、後退時にアクティブステアリング機能が自動で中立になるので、ボタン操作が減りオペレータの負担が軽減されます。



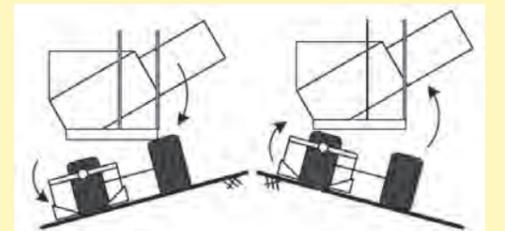
### ヒッチサポート機能(AS-H)

旋回時にトラクターとヒッチの角度に応じて畦合わせシリンダーを作用させハーベスタを外向きにすることで、ユニバーサルジョイントの作動角やトラクターとヒッチとの角度がきつくなることを防止します。



### 掘り取り部のフロート、レベリング

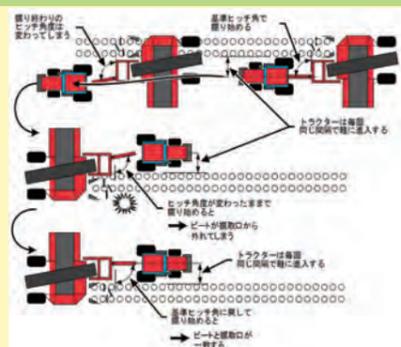
掘り取り部のフロートの機能は作用させることで地面の凹凸に追従するようになり、掘り取りの深さを一定に保持したまま掘り進めることができます。一定の深さで掘ることで、ビートが切れてしまうことを防止します。掘り取り部に搭載されているレベリング機能は、圃場と平行になるようにフロートさせます。機体は水平に、掘り取り部は圃場と平行にすることでビートがタンクに溜まってきたときに転倒するリスクを軽減し、尚且つビートをこぼしづらい構造に設計しました。



図のように機体は圃場に対して水平に、掘り取り部は平行になるように作用します。

### 基準ヒッチ角復帰機能

基準ヒッチ角を設定することで、ワンタッチで掘取時の角度に戻せるため、畦にスムーズに入ることができ、オペレータの操作負担の軽減になります。ヒッチサポート機能を有効にすることで、旋回から直進復帰時に自動的に基準ヒッチ角に戻すことができます。



### V字コールタ

掘り取りする畦間に刺さるようにコールタをV字で配置しました。残渣を処理し、掘り取りをやすくします。

